

## 社団法人 日本透析医会通常総会資料

社団法人 日本透析医会通常総会

日 時 平成 6 年 5 月 15 日 (日) 午後 2 時  
場 所 ホテルニュー神田 3 階 301 号室

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議事録署名人選任
5. 議 事

- 第 1 号議案 平成 5 年度事業報告及び収支  
決算の承認を求める件
- 第 2 号議案 平成 6 年度事業計画及び予算  
の承認を求める件
- 第 3 号議案 新役員の承認を求める件
- 第 4 号議案 その他

6. 閉 会

第 1 号議案 平成 5 年度 事業報告

### I. 会 議

#### 1. 総 会

平成 5 年度通常総会

平成 5 年 5 月 16 日

- 第 1 号議案 平成 4 年度事業報告及び収支  
決算の承認を求める件
- 第 2 号議案 平成 5 年度事業計画及び予算  
の承認を求める件
- 第 3 号議案 新役員の承認を求める件
- 第 4 号議案 その他

#### 2. 理事会

平成 5 年 5 月 16 日 協議事項

平成 5 年度通常総会提出議案について

第 1 号議案 平成 4 年度事業報告及び収支  
決算の承認を求める件

第 2 号議案 平成 5 年度事業計画及び予算  
の承認を求める件

第 3 号議案 新役員の承認を求める件

第 4 号議案 その他

#### 報告事項

1. 稲生名誉会長就任について
2. 災害時救急透析医療システムの現状につ  
いて
3. 会員の入・退会者について
4. その他

平成 5 年 9 月 11 日

( 拡大理事会及び第 3 委員会の共同開催 )

#### 協議事項

1. 診療報酬改定への要望事項について
2. 「安定期慢性維持透析の保険診療マニ  
アル」の改正について
3. その他

平成 6 年 2 月 20 日

( 拡大理事会及び第 3 委員会の共同開催 )

#### 協議事項

1. 診療報酬改定の経過報告について
2. その他

平成 6 年 3 月 27 日

( 拡大理事会及び第 3 委員会の共同開催 )

診療報酬改定についての説明会を開催

#### 3. 常務理事会

平成 5 年 5 月 16 日 協議事項

平成5年度通常総会の開催について

- (1) 平成4年度事業報告及び収支決算について
- (2) 平成5年度事業計画及び予算について
- (3) 新役員について
- (4) その他

報告事項

- (1) 稲生名誉会長就任について
- (2) 会員の入・退会者について
- (3) その他

平成5年5月21日 協議事項

平成5年5月28日

(臨時)

- (1) 平成5年度各委員会の委員長及び担当理事の選出について
- (2) その他

平成5年6月18日 協議事項

(臨時)

- (1) 平成5年度「シンポジウム」の開催について

仮題 「透析医療に関するコンセンサスカンファランス」

日時 平成5年11月14日(日)午前9時より

場所 津田ホール

- (2) 稲生名誉会長の記念品について
- (3) その他

報告事項

- (1) 低分子ヘパリン(フラグミン)の自主規制について
- (2) 会員の入・退会者について
- (3) 年会費納入状況について
- (4) その他

平成5年8月21日 協議事項

- (1) 「平成5年度腎移植推進月間」の主催団体としての参加依頼について

- (2) 医療費改定への要望事項について

- (3) 「安定期慢性維持透析の保険診療マニュアル」の改正について

- (4) 要介護透析患者・社会的入院患者に関するアンケート調査について

- (5) その他

報告事項

- (1) 第8回腎移植推進国民大会の開催について

- (2) 会費納入状況について

- (3) 会員の入・退会者について

- (4) その他

平成5年9月17日 協議事項

- (1) 医療費改定への要望書作成について

- (2) その他

報告事項

- (1) 平成5年度腎移植推進月間及び第8回腎移植推進国民大会の実施について

- (2) 会費納入状況について

- (3) 会員の入・退会者について

- (4) その他

平成5年9月24日 協議事項

平成5年10月1日 医療費改定への要望書作成について

(臨時)

平成5年10月15日 協議事項

(臨時)

- (1) 「安定期慢性維持透析の保険診療マニュアル」の改正について

- (2) その他

平成5年11月20日 協議事項

- (1) 第6回「シンポジウム」の結果について
- (2) 第8回腎移植推進国民大会の経費負担について

- (3) その他

## 報告事項

- (1) 診療報酬改定にともなう「要望書」の提出について
- (2) 各委員会報告
- (3) 会費納入状況について
- (4) 会員の入・退会者について
- (5) その他

## 平成6年1月22日 協議事項

- (1) 第10回国際エイズ会議・国際STD会議開催の協力について
- (2) 山川眞先生からの寄付金申込について
- (3) 第6回アクセス研究会の開催について
- (4) その他

## 報告事項

- (1) 第8回腎移植推進国民大会の助成について
- (2) 会費納入状況について
- (3) 会員の入・退会者について
- (4) その他

## 平成6年2月10日 協議事項

(臨時)

- (1) 診療報酬改定について
- (2) その他

## 平成6年2月23日 協議事項

(臨時)

- (1) 診療報酬改定にともなう緊急要望事項の作成について
- (2) その他

## 平成6年3月27日 協議事項

- (1) 平成6年度予算(案)について
- (2) 新役員の選任について
- (3) 医療費改定について
- (4) 医会事務室の契約更新について
- (5) 学会等の助成について

- (6) 第15回国際移植学世界会議の後援について

- (7) その他

## 報告事項

- (1) 第6回アクセス研究会の開催について
- (2) 会費納入状況について
- (3) 会員の入・退会者について
- (4) その他

## II. 平成5年度委員会報告

## 1. 適正透析療法委員会

- (1) 第一委員会

透析導入者審査委員会設置支部(新潟・栃木・愛知)に助成した。

- (2) 第二委員会

(平成5年度3回開催)

平成5年6月17日～19日(3日間:於新潟)

平成5年7月1日～3日(3日間:於東京)

平成5年9月11日(於:東京)

拡大常任理事会と合同で、透析保険医療の実態の分析・検討が、上記の3回にわたって、精力的になされた。

その検討結果に基づき

- ① 中央供給システムにおける、透析液使用量についての実態調査。

- ② 「安定期慢性維持透析の保険診療マニュアル」の見直しに着手。

- (3) 第三委員会

(平成5年度3回拡大理事会と合同開催)

- ① 各支部から適正な透析医療の遂行に関する諸問題が提出、討議され、次回医療費改定に対する医会としての対応について協議した。

- ② 透析医療施設の保険診療に関する説明会を開催した。

日時 平成5年9月11日(土)午後3時  
～午後5時

場 所 ホテルニュー神田  
講 師 厚生省保険局医療課医療指導監  
査室特別医療指導監査官  
中川晃一郎

③ 診療報酬改定についての説明会を開催した。

日 時 平成6年3月27日(日)午後1時  
～午後3時

場 所 ホテルニュー神田  
講 師 厚生省保険局医療課企画調査係  
主査 田原克志

(4) 第四委員会

(平成5年度2回開催)

平成6年度の診療報酬改定に対する医会としての対応について協議し、厚生省に「要望書」を提出するとともに厚生省幹部に対し、透析医療の現状を説明した。

「要望書」は会務報告どおり関係者に提出した。

(5) 第五委員会

(平成5年11月開催)

「感染性廃棄物処理マニュアル」が出されて1年以上が経過したが、地区により処理のされ方が異なっており、問題の生じているところもあるということで、全国レベルで実情を調査することになった。

現在、各支部長に依頼してアンケート方式で各支部での状況を調査中である。

2. 災害時救急透析医療委員会

(平成6年1月開催)

- (1) 平成5年9月 透析患者における要介護・社会的入院についての実態調査を実施し、平成6年1月発行の日本透析医会雑誌(Vol. 9・No2・20号)に報告した。
- (2) 第3回目の患者登録更新を実施した。

(参考)

	第1回登録数	第2回登録数	第3回登録数
施設登録	1,196件	1,217件	1,219件
個人登録	32,667人	38,390人	40,154人

(3) 平成6年1月29日(土)

委員会を開催し、今後の目標について討議した。

3. 合併症対策委員会

(平成6年3月開催)

「透析患者の合併症とその対策」シリーズとして、第4編－中枢神経障害－を編集発刊し、会員及び関係機関に送付した。

平成6年度は合併症シリーズとして「肝障害」をとりあげ、執筆者を選定し、依頼中である。

4. 腎移植普及推進委員会

- (1) 平成5年度腎移植推進月間及び第8回腎移植推進国民大会の助成を検討した。
- (2) 同推進月間のポスター及び小冊子「献腎」、パンフレットを会員に配布した。

5. 腎不全予防医学調査研究委員会

(平成6年3月開催)

平成6年3月24日(木)委員会を開催し、今後の調査・研究について討議した。

6. 研修委員会

(平成5年度3回開催)

- (1) 学術研究に助成した。
  - 1) 兵庫県透析医会  
研究標題：透析アミロイド症の発症と進展の機序の解明
  - 2) 徳島県透析医会  
研究標題：腎性貧血患者の赤血球造血抑制因子の研究

- (2) 下記支部が開催した講習会・講演会に助成した。

支部名	会 場	開催年月日
青森県	青森市民文化ホール	平成5年4月18日
宮城県	斎藤報恩会館	平成5年12月5日
栃木県	宇都宮市東コミュニティセンター	平成5年10月31日
岐阜県	岐阜県医師会館	平成5年11月14日
広島県	広島ターミナルホテル	平成5年10月2日
香川県	リーガホテルゼスト高松	平成5年11月13日

- (3) 第6回日本透析医会シンポジウムを開催した。

透析医療に関するConsensus Conference

－血液(濾過型)浄化器の機能的分類と適応病態－

日 時 平成5年11月14日(日)午前  
9時～午後3時

場 所 津田ホール

司 会 斉藤明・大平整爾

シンポジスト 新生会第一病院 斉藤明ほか7名

出席者 約400名

- (4) 第6回アクセス研究会を開催した。

日 時 平成6年3月13日(日)午前  
9時～午後3時30分

場 所 津田ホール

教育講演 「H I V感染患者の透析」  
福田祐幹  
(東京都立大久保病院)

シンポジウム 「ブラッドアクセストラブルの危険因子」

司会 東 仲宣(東葛クリニック病院)

水口 潤(川島病院)

一般演題 15題

出席者 約300名

## 7. 広報委員会

(平成5年度8回開催)

(社)日本透析医会創立5周年記念シンポジウ

ムとして、わが国の慢性透析症例の概要とKt/v、PCRや透析導入時調査などによるVol. 9・No 1(19号)。

名誉会長へのインタビューや透析患者における要介護患者の実態などによるVol. 9・No 2(20号)。

平成5年度総会報告などの7月31日付日本透析医会ニュース。診療報酬要望などの11月30日付日本透析医会ニュースを発刊し、全会員及び関係機関に送付した。

## 9. 内規委員会

(平成5年4月開催)

理事改選にともない、理事選出方法及び役員  
の定年制の設置について審議を行った。

(1) 理事選出方法について

1) ブロック別選出方法のうち中部ブロックについては、会員数及び県別等を考慮して、甲信越ブロックと中部ブロックの2カ所に分け、全体で8ブロックを9ブロックに改正した。

2) 新しいブロック別の割振りについては、次回改選期までに再検討し、適正な配分計算を行う。

(2) 役員  
の定年制の設置について

内規として、役員  
の定年制の設置について必要かどうかを検討したが、現時点では種々問題があるため、更に検討することで合意された。

## 平成5年度委員会開催状況

(平成5年4月1日～平成6年3月31日)

委 員 会	開 催 年 月 日
1. 適正透析療法委員会	
(1) 第一委員会	
(2) 第二委員会	平成5年 6月17日～19日 平成5年 7月1日～3日 平成5年 9月11日
(3) 第三委員会	平成5年 9月11日 平成6年 2月20日 平成6年 3月27日
(4) 第四委員会	平成5年 10月14日 平成5年 10月19日
(5) 第五委員会	平成5年 11月14日
(6) 第六委員会	
2. 災害時救急透析医療委員会	平成6年 1月29日
3. 合併症対策委員会	平成6年 3月5日
4. 腎移植普及推進委員会	
5. 腎不全予防医学調査研究委員会	平成6年 3月24日
6. 研修委員会	平成5年 7月1日 平成5年 12月10日 平成6年 1月13日
7. 広報委員会	平成5年 7月2日 平成5年 7月9日 平成5年 10月22日 平成5年 11月19日 平成5年 11月30日 平成5年 12月1日 平成5年 12月10日 平成6年 1月14日
8. 情報管理委員会	
9. 内規委員会	平成5年 4月15日

### Ⅲ. 会務報告

5. 4. 10 平成4年度 会計監査実施。
5. 4. 28 厚生省保健医療局長に公衆衛生審議会専門委員の委嘱について承諾書を提出。
5. 5. 16 低分子ヘパリン（フラグミン）の自主規制について会員に通知した。
5. 5. 20 厚生省保健医療局疾病対策課に通常総会等報告。
5. 5. 24 全腎協第23回総会に会長名で祝電発信。
5. 6. 21 厚生省保健医療局疾病対策課に「公益法人要覧'93」を提出。
5. 6. 28 変更登記申請書を東京法務局あて申請。
5. 6. 30 上記登記簿謄本受領。
5. 6. 30 厚生大臣あて平成4年度事業報告及び収支決算並びに平成5年度事業計画及び予算等提出。
5. 7. 19 厚生大臣あて「特定公益増進法人」であることの証明申請書提出。
5. 7. 20 被保険者報酬月額算定基礎届についての説明会。  
於：東医健保会館 増田 出席。
5. 7. 23 厚生省保険局医療課長あて「当医会の過去5年間の課題と成果」について提出。（鈴木専務理事持参説明）
5. 7. 23 職員 田山ふみ江 退職。
5. 8. 4 厚生省保険局医療課長あて透析医療施設の保険診療に関する説明会の講師派遣の依頼。（鈴木専務理事他1名）
5. 8. 10 厚生大臣就任にあたり会長名で祝電発信。
5. 8. 12 厚生省保健医療局疾病対策課長あて腎不全対策推進功労者の推薦について報告。
5. 8. 23 厚生大臣から「特定公益増進法人」であることの証明書受領。
5. 8. 25 厚生事務次官あて平成5年度腎移植推進月間の主催及び第8回腎移植推進国民大会の後援についての承諾書提出。
5. 8. 26 厚生大臣あて就任の挨拶状を会長名で送付。
5. 9. 11 透析医療施設の保険診療に関する説明会開催。  
講師：厚生省保険局医療課医療指導監査室  
特別医療指導監査官  
中川晃一郎
5. 9. 27 厚生省保険局医療課あて「安定期慢性維持透析の保険診療マニュアル（平成5年改訂）案」を提出。（鈴木専務理事、吉田常務理事持参）
5. 9. 29 厚生省保健医療局疾病対策課あて「平成5年度公益法人台帳の記入及び修正について」提出。
5. 10. 21 第8回腎移植推進国民大会に平澤会長出席（山口市）。
5. 10. 28 厚生省（多田保険局長、篠崎保険局医療課長）及び日本医師会（村瀬会長、坪井副会長）に診療報酬改定についての「要望書」提出（別紙）。
5. 10. 29 本会理事前田憲志先生の御母堂葬儀に会長名及び理事一同で供花。
5. 11. 5 診療報酬改定についての「要望書」を厚生省及び日本医師会あて提出の通知について。（理事、支部長あて発送）
5. 11. 10 第9回疾病対策懇話会開催 鈴木専務理事、事務局長出席。

5. 11. 13 日本腎移植者協議会総会に会長名で祝電発信。
5. 11. 14 第6回シンポジウム「透析医療に関するコンセンサスカンファレンス'93－血液浄化器の機能的分類と適応病態－」開催(東京都)。
5. 11. 16 東京都腎不全対策協議会開催(東京都庁)。(山崎常務理事出席)
5. 11. 20 平成5年度腎移植推進月間及び第8回腎移植推進国民大会の助成について決定。
5. 11. 20 全腎協会長ほか関係者との懇談会開催。  
本会から平澤会長ほか副会長、専務理事、常務理事5名出席。
5. 12. 2 本会理事 山川眞先生逝去。(会長名、理事名で供花)
5. 12. 4 平澤会長、鈴木専務理事、吉田・山崎常務理事他弔問。
5. 12. 13 理事変更登記申請書を申請。(東京法務局)
5. 12. 16 厚生大臣あて「理事の異動」について報告。
6. 1. 22 日本医師会常任理事 吉田清彦先生逝去。(会長名で供花)
6. 1. 28 本会理事 土屋 隆先生の御母堂葬儀に会長名及び理事一同で供花。
6. 2. 22 「平成6年社会保険診療報酬改定の概要」等について、理事、支部長、東京都會員(未組織会員)あて発送。
6. 2. 24 厚生省保健医療局長あて「保健医療局許可法人研修会の開催について」の出席者提出。
6. 2. 25 厚生省保険局医療課長あて「緊急要望事項について」提出。
6. 2. 28 厚生省保険局医療課長あて「診療報酬改定に関する説明会」の講師派遣の依頼。
6. 3. 10 全腎協会長ほか関係者との懇談会開催。  
本会から平澤会長、吉田・山崎常務理事、松田理事出席。  
(協議内容について、疾病対策課長、保険局医療課長に報告)
6. 3. 16 「保健医療局許可法人研修会」開催。  
吉田常務理事、事務局長出席。
6. 3. 27 第36回日本臨床細胞学総会及び第3回腎不全外科研究会への助成を決定。
6. 3. 27 「第15回国際移植学世界会議」の後援について承諾。
6. 3. 27 平成6年診療報酬改定説明会開催  
講師：厚生省保険局医療課  
主査 田原克志

平成5年10月 日

殿

社団法人 日本透析医会  
会 長 平澤 由平

## 要 望 書

腎不全対策に関し日頃より、格別なご高配を戴き、心より感謝する次第であります。

本会では、腎不全予防、腎移植の普及とともに、良質でかつ効率的な透析療法の普及に主力を傾注しております。

具体的には災害時の救急透析体制の確立と運用のために多くの資金を投資し、適正透析導入のガイドラインの作成、安定期維持透析患者用保険診療マニュアルの作成と改定、透析関連高額医薬品適正使用のための自主規制などを実施して参りました。

本会の事業につきまして一層のご理解を賜りますとともに、診療報酬の改定を控えたこの時期に、以下の事項に関する所要の改定を要望するものであります。

### 1. 人工腎臓処置料（手技料）の引き上げ

透析従事者の人件費は、週休2日制の導入や夜間透析従事職員の待遇改善等とあいまって高騰しており、更に施設等の賃貸料など諸経費の値上がりも加わって、透析施設の経営は、きわめて厳しい状況を呈してきています。

本会は、次回の診療報酬改定に当たり日本医師会を始め、各病院団体が要求するところの“人件費上昇に対応できる診療報酬の改定”に賛成し、人工腎臓処置料（手技料）の引き上げを要望します。

### 2. 特定疾患療養指導料の腎疾患への適応

腎疾患は、例えば、腎硬化症がそうであるように、成人病である性格が強く、従って、食事

指導・日常生活指導、高血圧管理などの服薬指導が最も効果を示す疾患群であることは、学会等でも認知されております。また、食事指導を含む療養指導こそが透析導入を遅延させる唯一の手段と言っても過言ではありません。

腎疾患を「特定疾患療養指導料」の適応対象とするべく要望するしだいです。

### 3. 特殊疾患管理加算の適応拡大と点数引き上げ

現在の対象患者に加え、下記のごとき「著しく人工腎臓治療が困難な患者」に対しても「特殊疾患管理加算」が適応となりますよう要望します。

また、これら対象患者は経営が問題となっているセンター病院にて治療中であると予想され、このためにも点数の引き上げを強く要望します。

### 記

- 1) 透析中循環不全症状を呈し、維持透析が困難な透析歴10年以上の患者
- 2) 入院を要する重症感染症合併患者
- 3) 入院を要する末期癌合併患者
- 4) 入院を要する腹水・胸水貯溜患者
- 5) 入院を要する全身麻酔術後患者
- 6) 入院を要する骨折や出血を伴う外傷患者
- 7) 間歇性跛行を伴う閉塞性動脈硬化症合併患者や糖尿病性壊疽合併患者
- 8) ブラッドアクセス確保が困難で、人工血管や留置カテーテル使用または動脈直接穿刺の患者

#### 4. 慢性維持透析患者外来医学管理料の点数引き上げ

老人保健施設の定額制にみられるごとく、人事院勧告の人件費に見合った点数のスライド制を導入すると共に検体検査項目を改訂して、点数の引き上げを要望します。

#### 5. 導入期加算の適応拡大について

急性腎不全は、通常の慢性腎不全透析導入に比べ、一層患者のリスクは高く、短期間の透析とはいえ多くの人手と高度な技術を要します。当然急性腎不全も導入期加算の適応と考えられ、導入期加算の対象に組入れるよう要望します。

#### 6. UF（除水量）コントローラー加算の新設

透析の合併症対策として、高機能ダイアライザーが使用されるようになりましたが、高機能ダイアライザー使用には必ず除水コントローラーを必要とします。その使用コストは納入価計算で見ても、一透析当り 501～682円を要します。このため除水コントローラー加算の新設を要望します。

なおUFコントローラー使用時の原価計算を、別添資料1として添付します。

#### 7. CAPD用カテーテル腹腔内留置手技料

カテーテルの腹腔内留置術については、1300点が設定されています。実際カテーテルの留置は、腹膜を切開しダグラス窩への挿入を確認しますので、試験開腹術4000点の点数設定が妥当と思われる。

#### 8. 年末年始の日曜日の取り扱い

基本診療料のなかで、12月29日から1月3日までは、休日または祝日として扱われています。しかし人工腎臓の休日加算のうち、日曜日である年末年始が加算の対象から外れており、あまりに実状とかけ離れた判断であると考えていま

す。すなわち、一般的に年末年始については、患者および職員の強い希望により1月1日の透析は避け、この分を最も近い日曜日に実施します。1月1日の透析治療を避けるのは患者として当然と思われ、かつ国民感情に沿うところと考えます。振り替えた日曜日が年末年始と規定される日であれば、休日加算を請求できますよう、「注意書き」の改定を要望します。

#### 9. 「点数表の解釈」記載事項について

表記の事項について、解釈上時に誤解を招く下記の表現につきましては、次回改訂時に書き改められますよう要望します。

#### 記

- 1) 慢性維持透析患者外来医学管理料  
「注4.」(平4. 3. 7 保険発17)  
(現行)慢性維持透析患者外来医学管理料に包括される以外の検査を算定する場合は、その必要性を診療報酬明細書の摘要欄に記載する。  
(改訂希望)……包括される以外の検体検査を算定する場合は、……と、「検体」を加える。

## 平成5年度収支決算書

## 1. 収支計算書（平成5年4月1日から平成6年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	平成5年（案）	決 算 額	差 異	備 考
<b>I 収入の部</b>				
1. 会費収入	70,000,000	69,134,000	△ 866,000	
2. 入会金収入	4,000,000	1,700,000	△ 2,300,000	
3. 受講料収入	0	0		
4. 寄付金収入				
寄 付 金	0	5,000,000	5,000,000	
助成協賛金等	60,000,000	37,270,000	△22,730,000	
寄付金収入合計	60,000,000	42,270,000	△17,730,000	
5. 受取利息収入	9,000,000	11,649,609	2,649,609	
6. 雑 収 入		7,280	7,280	
7. 会 場 収 入		513,000	513,000	
当期収入合計(A)	143,000,000	125,273,889	△17,726,111	
前期繰越収入差額	95,000,000	96,057,699	1,057,699	
収 入 合 計 (B)	238,000,000	221,331,588	△16,668,412	
<b>II 支出の部</b>				
1. 事 業 費				
透析医療適正化事業費	7,330,000	4,171,509		
地域透析医療システム事業費	77,100,000	33,719,527		
腎移植普及推進事業費	7,800,000	6,509,865		
腎不全予防医学調査研究費	700,000	15,460		
研修等事業費	12,000,000	11,186,132		
広報活動費	13,000,000	10,990,649		
その他の事業	64,450,000	25,825,205		
事 業 費 合 計	182,380,000	92,418,347	△89,961,653	
2. 管 理 費				
人 件 費	21,000,000	19,994,389		
家 賃	7,000,000	6,502,884		
その他経費	11,953,000	15,684,781		
管 理 費 合 計	39,953,000	42,182,054	2,229,054	
3. 固定資産取得支出				
災害時システム設備支出		6,180,000		
固定資産取得支出合計		6,180,000		
4. 予 備 費	6,000,000	0		
5. 基本財産組入額	0	2,000,000		
当期支出合計(C)	228,333,000	142,780,401	△85,552,599	
当期収支差額(A)-(C)	△85,333,000	△17,506,512	67,826,488	
次期繰越収支差額(B)-(C)	9,667,000	78,551,187	68,884,187	

## 2. 正味財産増減計算書(平成5年4月1日から平成6年3月31日まで) (単位:円)

科 目	金 額		
I 増加の部			
1. 資産増加額			
災害時システム設備購入額	6,180,000		
その他資産増加額	2,000,000	8,180,000	
増加額合計			8,180,000
2. 負債減少額			
減少額合計			0
II 減少の部			
1. 資産減少額			
当期収支差額	17,506,512		
建物附属設備減価償却額	19,050		
什器備品減価償却額	852,169		
災害時システム設備減価償却額	14,296,264	32,673,995	
2. 負債増加額	0	0	
減少額合計			32,673,995
当期正味財産減少額			24,493,995
前期繰越正味財産額			423,035,697
期末正味財産合計額			398,541,702

## 3. 貸借対照表 (平成6年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	81,396,120		
仮払金	53,800		
流動資産合計		81,449,920	
2. 固定資産			
基本財産			
定期預金	272,000,000		
基本財産合計	272,000,000		
その他の固定資産			
建物附属設備	115,105		
什器備品	2,321,485		
災害時システム設備	38,815,241		
電話加入権	388,684		
保証金	6,350,000		
その他の固定資産合計	47,990,515		
固定資産合計		319,990,515	
資産合計			401,440,435
II 負債の部			
1. 流動負債			
その他預り金	2,000		
預り金	324,196		
未払金	2,572,537		
流動負債合計		2,898,733	
負債合計			2,898,733
III 正味財産の部			
正味財産			398,541,702
(うち基本金)			(272,000,000)
(うち当期正味財産減少額)			(24,493,995)
負債及び正味財産			401,440,435

## 4. 計算書類に対する注記

## 1. 重要な会計方針

## (1) 固定資産の減価償却について

有形固定資産については、定率法による減価償却を実施している。

## (2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、及び仮払金、未払金、及び預り金を含めている。

なお、当期末残高は、下記3に記載するとおりである。

## 2. 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金	270,000,000	2,000,000	0	272,000,000
合計(基本金)	270,000,000	2,000,000	0	272,000,000

## 3. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当 期 末 残 高
現金預金	81,396,120
仮払金	53,800
合 計	81,449,920
その他預り金	2,000
預り金	324,196
未払金	2,572,537
合 計	2,898,733
次期繰越収支差額	78,551,187

## 4. 有形固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取 得 価 格	減価償却累計額	当 期 末 残 高
建物附属設備	322,907	207,802	115,105
什器備品	16,534,170	14,212,685	2,321,485
災害時システム	103,633,085	64,817,844	38,815,241
合 計	120,490,162	79,238,331	41,251,831

## 5. 財産目録（平成6年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	55,600	
普通預金 三菱銀行神田支店	2,943,640	
住友銀行神田支店	36,640	
第一勧業銀行神田支店	13,881	
さくら銀行神田支店	27,459	
あさひ銀行神田支店	8,953,750	
郵便振替	347,890	
定期預金 三菱銀行神田支店	69,017,260	
仮払金	53,800	
流動資産合計		81,449,920
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
定期預金 三菱銀行神田支店	272,000,000	
(2) その他固定資産		
建物付属設備		
間仕切工事	115,105	
什器備品		
会議用テーブル	66,196	
会議用椅子	216,216	
事務用椅子	36,306	
パーソナルコンピュータ	62,436	
ゼロックスコピー	164,555	
FAX & ソーター	28,105	
東芝ワープロ	82,452	
IBM S38	416,246	
IBM ソフト	1,047,615	
NEC PC9801	81,288	
明光MSシュレッダー	120,070	
災害時システム設備		
建物付属設備		
電源増設工事	1,431,197	
日本ユニシス2200設備工事	2,695,904	
什器備品		
日本ユニシス2200/200SX	13,005,259	
日本ユニシス ソフト	21,528,616	
ゼロックスFAX	154,265	
電話加入権	388,684	
保証金 淡路建物ビル保証金	6,300,000	
警備保証金	50,000	
その他固定資産合計	47,990,515	
固定資産の合計		319,990,515
資産合計		401,440,435

(単位：円)

科 目	金 額		
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
預り金 職員等に対する源泉所得住民税	324,196		
翌年度会費預り分	2,000		
未払金	2,572,537		
流動負債合計		2,898,733	
負債合計			2,898,733
正味財産			398,541,702

## 管理費内訳

給料	16,385,883
賃金	0
法定福利費	1,571,201
通勤費	720,380
退職金	1,316,925
旅費交通費	681,930
会議費	29,700
交際接待費	1,737,065
福利厚生費	179,287
印刷製本費	662,447
通信運搬費	1,291,009
消耗品費	725,825
委託費	3,996,644
報酬（要源泉）	894,439
水道光熱費	538,022
リースレンタル	6,502,884
諸会費	296,301
租税公課	10,400
雑費	427,732
常任理事会費	2,256,328
総会・理事会費	1,957,652
合 計	42,182,054

## 第2号議案 平成6年度事業計画書

### 事業計画の概要

#### 1. 透析医療の適正化に関する調査・研究事業

- ① 適正な透析療法の検討に関する調査・研究

##### 適正透析療法委員会

- \* 透析療法の質的向上と普遍化を目的とする調査・研究

##### 第一委員会

適正な導入時期に関する調査研究

##### 第二委員会

適正な維持透析療法に関する調査研究

##### 第三委員会

同上の療法の普及推進を行う

##### 第四委員会

適正な透析医療経済に関する調査研究

##### 第五委員会

医療廃棄物対策に関する調査研究

##### 第六委員会

在宅治療の（CAPD・家庭透析等）の適応基準の調査・研究

#### 2. 地域透析医療システムに関する調査・研究

- \* 透析施設間の相互連携による地域透析医療システムを確立するための調査・研究

- ① 災害時における救急透析医療システムの作成に関する調査・研究

##### 災害時救急透析医療委員会

イ. 施設登録・患者登録の調査、入力及び検証に関する事業

ロ. コンピュータ化に伴う他委員会との整合性の検討

ハ. ブロック別災害時救急透析医療システムの構築

ニ. 災害等のための患者透析登録証の発行

- ② 長期透析患者の合併症に対する調査・研究

##### 合併症対策委員会

イ. 透析導入の初発原因（原疾患・病因等）に関する調査・研究

ロ. 患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携化に対する調査・研究

ハ. 患者の長期生存に伴い発生する合併症及びその原因に対する調査・研究

#### 3. 腎移植普及推進に関する事業

##### 腎移植普及推進委員会

- \* 会員及び患者に対しての協力・普及を目的とする。

イ. 腎移植推進月間・腎バンク及び地方腎移植推進システムへの協力事業

ロ. 会員に対する腎移植の啓発・教育事業（脳死問題を含む講演会及び腎移植広報活動等）

ハ. 患者に対する腎移植推進事業（会員の日常業務として、地区患者を対象とする推進事業）

ニ. 関係団体への協力事業（医療施設や遺族に対するドネーションの啓発）

ホ. 腎移植コーディネーター問題の研究

#### 4. 腎不全予防医学の調査・研究事業

##### 腎不全予防医学調査研究委員会

- \* 透析導入を予防し残腎機能を維持させるための事業

イ. 透析導入前の慢性腎不全患者に対する保存的維持療法の調査・研究事業

ロ. 関係団体への協力事業

5. 研修等事業

研修委員会

- イ. 腎不全臨床医療スタッフの研修会の開催
- ロ. 学術研究への協力
- ハ. 関係学会・団体との研究協力
- ニ. 国内講演会等の開催

6. 広報活動及び刊行物の発行に関する事業

広報委員会

機関誌等の発行

- イ. 雑誌 1,500部（年4回発行）
- ロ. 医会ニュース 1,200部

7. その他の事業

情報管理委員会

- \* 医会が行う各種のアンケート調査結果の管理運用

## 平成6年度予算

## [収入の部]

(単位：円)

区 分	平成5年度予算	平成6年度予算	増 減
1. 会費収入	70,000,000	68,000,000	△ 2,000,000
2. 受取利息	9,000,000	6,000,000	△ 3,000,000
3. 入会金収入	4,000,000	1,000,000	△ 3,000,000
4. 前年度繰越金	95,000,000	70,000,000	△ 25,000,000
5. 寄附金収入	60,000,000	100,000,000	40,000,000
6. 雑収入			
計	238,000,000	245,000,000	7,000,000

## [支出の部]

区 分	平成5年度予算	平成6年度予算	増 減
1. 事業費	182,380,000	197,330,000	14,950,000
2. 管理費	39,953,000	36,545,000	△ 3,408,000
3. 予備費	6,000,000	5,000,000	△ 1,000,000
4. 次年度繰越金	9,667,000	6,125,000	△ 3,542,000
5. 基本財産組入額	0		
計	238,000,000	245,000,000	7,000,000

区 分	平成5年度予算	平成6年度予算	増 減
基本財産累計	270,000,000	272,000,000	2,000,000

## 支出の部内訳

(単位：円)

区 分	平成5年度予算	平成6年度予算	増 減
I. 事業費（調査研究事業費）	182,380,000	197,330,000	14,950,000
（1）透析医療の適正化	7,330,000	7,330,000	0
（1）第一委員会	(1,750,000)	(1,750,000)	( 0)
（2）第二委員会	(1,330,000)	(1,330,000)	( 0)
（3）第三委員会	(2,000,000)	(2,000,000)	( 0)
（4）第四委員会	(1,000,000)	(1,000,000)	( 0)
（5）第五委員会	(800,000)	(800,000)	( 0)
（6）第六委員会	(450,000)	(450,000)	( 0)
（2）地域透析医療システム	77,100,000	63,100,000	△14,000,000
（1）災害時救急透析医療委員会	(71,500,000)	(60,000,000)	(△11,500,000)
（2）合併症対策委員会	(5,600,000)	(3,100,000)	(△ 2,500,000)
（3）腎移植普及推進	7,800,000	7,500,000	△ 300,000
（4）腎不全予防医学の調査研究費	700,000	700,000	0
（5）研修等事業費	12,000,000	10,000,000	△ 2,000,000
（6）広報活動費	13,000,000	12,000,000	△ 1,000,000
（7）その他の事業	64,450,000	96,700,000	32,250,000
（1）情報管理委員会	(1,200,000)	(1,200,000)	( 0)
（2）内規委員会	(250,000)	(500,000)	(250,000)
（3）学会助成費	(60,000,000)	(95,000,000)	(35,000,000)
（4）シンポジウム費	(3,000,000)	( — )	(△ 3,000,000)
II. 管理費	39,953,000	36,545,000	△ 3,408,000
（1）人件費	21,000,000	17,300,000	△ 3,700,000
（2）家賃	7,000,000	7,000,000	0
（3）その他の経費	11,953,000	12,245,000	292,000
III. 予備費	6,000,000	5,000,000	△ 1,000,000
IV. 次年度繰越金	9,667,000	6,125,000	△ 3,542,000
V. 基本財産組入額	0	0	0
計	238,000,000	245,000,000	7,000,000

## 第3号議案

## 社団法人 日本透析医会 役員名簿

役 職 名	氏 名	現 職
名 誉 会 長	稲 生 綱 政	医療法人大坪会 東和病院 院長
会 長 (甲信越)	平 澤 由 平	社会福祉法人 信楽園病院 院長
副 会 長 (北海道)	今 忠 正	札幌北クリニック 院長
〃 (関 西)	藤 田 嘉 一	医療法人五仁会 住吉川病院 顧問
専 務 理 事 (関 東)	鈴 木 満	医療法人松圓会 理事長
常 務 理 事 (関 東)	吉 田 豊 彦	医療法人誠仁会 理事長
〃 (中 部)	山 崎 親 雄	医療法人衆済会 増子記念病院 院長
〃 (関 西)	飯 田 喜 俊	藍野学院短期大学 看護学科 教授
理 事	太 田 和 夫	東京女子医科大学 教授
	翁 久次郎	全国社会福祉協議会 会長
	小 出 桂 三	帝京大学医学部 教授
	石 丸 隆 治	(財)ヒューマンサイエンス振興財団 専務理事
	前 田 憲 志	名古屋大学医学部 教授
	藤 見 惺	福岡赤十字病院 内科部長
	中 川 成之輔	東京都多摩老人医療センター 循環器科医長
	松 田 鈴 夫	医事評論家(前 時事通信社)
(北海道)	廣 田 紀 昭	廣田医院 院長
(東 北)	関 野 宏	医療法人宏人会 理事長
(東 北)	村 上 秀 一	医療法人三良会 村上新町病院 院長
(関 東)	奥 田 健 二	医療法人開生会 奥田クリニック 院長
(甲信越)	土 屋 隆	医療法人輝山会 理事長
(中 部)	鈴 木 信 夫	医療法人研信会 理事長
(関 西)	井 上 隆	医療法人蒼龍会 理事長
(関 西)	澤 西 謙 次	京都大学医学部 講師
(中 国)	辰 川 自 光	医療法人辰川会 理事長
(中 国)	高 杉 敬 久	博愛病院 院長
(四 国)	寺 尾 尚 民	医療法人尚腎会 理事長
(九 州)	後 藤 宏一郎	後藤クリニック 院長
(九 州)	工 藤 寛 昭	工藤医院 院長
(九 州)	牧 角 仙 丞	医療法人明星会 理事長
監 事 (甲信越)	大 森 伯	大森内科医院 院長
(関 東)	高 宮 治 生	栃木県厚生連 下都賀総合病院 院長
(九 州)	山 口 弾 之	医療法人至誠会 理事長